

目標および成果指標の設定 記入様式

活動団体名： 田主丸・未来創造会議

上位関連計画にみる地域の将来

- 地球温暖化対策推進法や政府の目標：2013年度比で2030年までに46%削減、2050年までにカーボンニュートラル達成
- 第5次エネルギー基本計画における2030年に実現を目指す再エネの電源構成比率：22～24%、2030年に実現を目指す実質エネルギー効率（最終エネルギー消費量／実質GDP）35%減
- 現在の人口：302,610人、将来：299,086人（2030年）、279,310人（2045年）（日本の地域別将来推計人口（平成30年推計））
- 久留米市新総合計画第四次基本計画 にぎわいのあるまちだと感じる住民の割合 現状：35.2%→目標：40.0%（2025年）
- 第三次久留米市環境基本計画 日常で環境に配慮した取組をしている住民の割合 現状：80.3%→目標：85.0%（2025年）

②具体的な取組

※誰が何をするのか、主なものをお書きください。

- カラタチの用途開発（福岡県苗木農協、福岡県苗木研究会、アロマなどのヘルス&ビューティに関わる企業・研究機関）
- カラタチのチップ化・輸送などの関連課題解決（福岡県苗木農協、福岡県苗木研究会、農機機器製造企業）
- かっぱの森J-クレジットの販売促進（田主丸財産区、久留米市、道の駅くるめ、JAにじ、田主丸地域の各校区まちづくり振興会）
- グランピング、SDGs ツアーなど水縄（耳納）連山魅力向上（田主丸財産区、久留米市、観光関連サービス事業者）
- 神事・伝統行事の体験見学ツアーの開発、情報発信、農家民泊との連携(地元農泊協議会、久留米大学、観光関連団体)

③短期目標

| 分野 | 小項目 | 成果指標 | 現状値 | 目標値 (2023年度末) | 実績値 (2023年度末) | 単位 |
|----|----------------|-----------------|-----|------------------|------------------|----|
| 環境 | 地域の取組み状況 | 植木苗木業者のSDGs検討会 | 0 | 3 | 0 | 回 |
| | 地域の取組み状況 | 地元向け森林環境学習会 | 0 | 5 | 0 | 回 |
| | 地域の取組み状況 | 地元向け神事伝統行事見学会 | 0 | 10 | 2 | 回 |
| | | | | | | |
| 経済 | カラタチ再利用からの経済効果 | 伐採カラタチ関連商品数 | 0 | 2 | 0 | 商品 |
| | カラタチ再利用からの経済効果 | 商品開発の共同検討案件 | 2 | 4 | 3 | 案件 |
| | 地域外からの収入 | ふるさと納税J-クレジット返礼 | 0 | 10 | 1 | 件 |
| | 地域外からの収入 | 森/神事ツアー田主丸外参加者 | 0 | 30 | 19 | 人 |
| | 財源の確保 | J-クレジット付農産物販売 | 0 | 5 | 0 | 商品 |
| | | | | | | |
| 社会 | 地元への愛着・誇り | J-クレジット地元購入者・団体 | 1 | 4 | 5 | 数 |
| | 地元への愛着・誇り | 地元向け学習見学会参加者 | 0 | 50 | 10 | 人 |
| | 関心の高まり | 当団体活動メディア登場数 | 3 | 10 | 4 | 回 |
| | | | | | | |

⑤短期指標が長期目標にどのように関わるのかお書きください

田主丸・未来創造会議が掲げる3テーマ(①みかん苗木生産に使用するカラタチの伐採不要部分の再利用、②かっぱの森J-クレジット普及活動を始めとする耳納連山の価値向上、③田主丸のご神事伝統行事の保存活用)について、上記「①ありたい未来」「②具体的な取組み」に記載した通り、伐採カラタチの商品開発に目途を立て田主丸の中心的な農産物生産者に対して将来の可能性を提示できるよう努め、同時に、地域循環共生圏に対する認知関心を高めるための地元向け各種イベントを開催することで地元サポーターの増加を目指す。

このような地元の盛り上がりやプラットフォームの根拠として新たな事業を立ち上げ、事業を含めた様々な田主丸のSDGs的活動により、全国からの関心度を獲得していきたい。そして長期的には移住定住も含めた多くの関係人口を受け入れるに足る地元の地力を高めることを見据え長期目標を設定した。

※環境・経済・社会がどのように関係し合い、相互に高まっていくのか具体的にお書きください

①ありたい未来

※どのような地域にしたいのか、何を引き継いでいきたいのかなど、具体的にお書きください

●若年を含む全世代が地元へ愛着と誇りを持ち、豊かで多様な地域資源を活用した事業により地域経済が循環する地域

→ 田主丸は、南に水縄（耳納）連山、北に筑後川に挟まれた美しい田園地帯で、そこで営まれる農業は米麦作の他に柑橘系苗木の生産があり、全国の約8割を占めている。中でも植木・苗木業は、江戸時代から行われており、日本三大植木生産地に数えられ、特に、全国に先駆け栽培し始めた巨峰を筆頭にブドウ・柿・イチゴなどの観光農園も盛んで、種類も豊富である。

また、河童駅（JR田主丸駅）や河童像でも有名な地域で、弥生時代の遺跡や古墳とともに、その時代から続く農業に根付く神事や伝統行事も非常に多く残るなど、日本の歴史文化を体感できる全国的にも貴重な地域と言える。

このように自然・農業・文化に富む地域である一方で、将来的にこの環境や農業が維持できなくなれば、地域社会を持続・発展させていくことは困難になる。加えて、高齢化・少子化の進展による後継者問題や異常気象などが地域社会存続の差し迫った危機=問題となっており、環境・経済・社会を統合して地域を再生させる【地域循環共生圏】=ローカルSDGs的な解決策が、ここ田主丸でも求められている。

→ このようなことから、上記のような地元の魅力や課題を学び、体感できる様々なプログラムが提供され、若年世代が参画できる環境を整え、地元への愛着や誇りを持つ大人に成長してもらうとともに、6次化を含めた農林業や観光サービス業を中心に、豊かで多様な地域資源を活用した事業が展開できる地域となることを目指す。

④長期目標

| 分野 | 小項目 | 成果指標 | 現状値 | 目標値 (2023年度末) | 目標年度 2030-2050年度 | 目標値 | 単位 |
|----|---------------|----------------|---------|------------------|---------------------|---------|----|
| 環境 | 周辺環境への関心 | 生物多様性の認知度 | 27 | 40 | 2030年度 | 90 | % |
| | 周辺環境への関心 | 周辺環境の満足度 | 54 | 56 | 2030年度 | 65 | % |
| | | | | | | | |
| 経済 | みかん苗木生産の担い手増加 | 福岡苗木研究会の会員数 | 24 | 25 | 2030年度 | 30 | 人 |
| | 植木苗木業の落ち込み抑制 | 田主丸緑化樹木生産者/企業数 | 972 | 960 | 2030年度 | 950 | 数 |
| | 植木苗木業の落ち込み抑制 | 田主丸緑化樹木生産面積 | 27,863 | 26,500 | 2030年度 | 25,000 | a |
| | 関係人口の増加 | 田主丸への観光客入込数 | 200,000 | 210,000 | 2030年度 | 500,000 | 人 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 社会 | 地元や全国から積極的な関与 | Jクレジット購入総数 | 6 | 15 | 2030年度 | 40 | 数 |
| | 地元の積極的な関与 | 各種ツアーの地元ガイド数 | 0 | 10 | 2030年度 | 50 | 人 |
| | 田主丸への関心の高まり | 田主丸関連メディア登場回数 | 78 | 95 | 2030年度 | 150 | 件 |
| | 田主丸への関心の高まり | 田主丸町観光ナビ！アクセス数 | 24,000 | 30,000 | 2030年度 | 50,000 | 数 |
| | | | | | | | |